

韓国・朝鮮の遺族とともに

遺骨問題の解決へ 2007 in 飛騨・名古屋

7月28日(土)

午前11時～午後7時

フィールドワーク

高山別院～神岡鉱山～神岡寺跡
両全寺～浅井田ダム～本教寺他
学習会

「神岡鉱山と朝鮮人労働者」

「飛騨神岡・高山での取り組み」

[集合] 東本願寺高山別院

[参加費] 3,000円

(昼食代含む、高校生以下半額)

朝鮮人徴用者の遺骨返還事業が、2004年12月の日韓首脳会談により合意され、開始されました。遺骨問題は、60年の歳月を経た今、「植民地支配の未清算と戦後責任の象徴」という位置を与えられています。

今年、この徴用者の遺骨問題は、山場を迎えようとしています。寺院での調査が本格化しているからです。その中で注目されるのが、岐阜県飛騨市・高山市です。ここの寺院から大量の遺骨(約80人分)が発見され、宗教者による取り組みとともに、神岡鉱業(株)や市民団体の協力があつて、死亡者や残存遺骨の実態が明らかになり、遺骨返還に向けた先進地区になろうとしています。

私たちは、昨年(2006年)の7～8月に「韓国・朝鮮の遺族とともに遺骨問題の解決へ—2006夏」を、東京の全国集会を皮切りに各地27ヵ所で開催し、19人の遺族をお招きし、大きな反響を得ることができました。

今年は、飛騨神岡・高山地域でのフィールドワークと名古屋市における全国集会という企画を現地と協力して実施することにいたしました。ここには、遺骨が発見された犠牲者の遺族や鉱山での強制労働体験者をお招きし、共に現地を踏み、歴史的な体験を共有し、飛騨・高山地区の成果に学び、遺骨返還の動きを全国に広がるきっかけにしたいと思います。

7月29日(日)

午後1時30分～4時30分

於: 名古屋市 名進研ホール

全国集会

遺骨発見の遺族からの発言

強制労働体験者(神岡)の証言

基調報告

各地(北海道・九州等)からの報告

追悼祭(韓国の巫舞)

[参加費] 1,000円

「韓国・朝鮮の遺族とともに」全国連絡会

会長 淵 英徳(曹洞宗宗務総長)

共同代表 上杉 聡、内海愛子、清水澄子、殿平善彦

東京都港区六本木3-5-11 松本治一郎記念会館

☎ 03-5562-0152

主催 「韓国・朝鮮の遺族とともに—遺骨問題の解決へ」全国連絡会

後援 朝鮮半島出身者遺骨調査会、岐阜県地下壕研究会(交渉中)

あいち平和フォーラム、フォーラム岐阜(交渉中)

会場へのアクセス

高山別院 (学習会-フィールドワーク 集合場所)



JR 高山駅より徒歩 15 分

名進研ホール (全国集会会場)



地下鉄：東山線・桜通線「名古屋駅」下車 1 番出口より徒歩 5 分

JR・私鉄：JR「名古屋駅」、近鉄「名古屋駅」、名鉄「名鉄名古屋駅」より徒歩 5 分

市バス：名駅系統「名古屋駅停留所」下車徒歩 5 分